

学力検査問題

I

〔出題意図〕

保育や教育を対象とする研究において、いかなるテーマであっても、そこには「人」が存在する。研究する者として研究対象となる人、あるいは研究対象の先にいる人をどのように捉えるかは、本学の「子どもからはじまる児童教育学」という理念において重要な視点である。このことを踏まえ、文献資料の内容を適切に理解した上で、人を理解することやその姿勢（あるいは手法）について、自らの考えを論理的に記述する力を問う。

【解答のポイント】

1. 一人称視点と二人称的かかわりの関係性を適切に理解していること。
2. 人を理解することを伴う保育・教育研究における自らの視点について、論理的に述べられていること。
3. 論述の体裁（表記を含む）が整っていること。

II

〔出題意図〕

現在、ChatGPTをはじめとする生成AIは人々の生活の身近にあり、普及してきているとあってよい。学校教育にとって生成AIの普及は、教育内容の問い直しが必要となることを意味している。学校教育では、ICTの発展を背景としたGIGAスクール構想の実施によって、1人1台のデバイスを持つようになった。学校内外を問わず、インターネット環境に容易に接することができることから、初等教育で学ぶ子どもたちにとっても、生成AIは身近にあるといえるだろう。そのような社会状況の中で、文部科学省は「初等中等教育段階における生成AIの利活用のガイドライン」を2024年12月に策定した。

以上の状況を踏まえ、学校教育あるいは幼児教育の場において生成AIがどのように捉えているのかについて、資料を基に適切に理解するとともに、生成AIと学校教育とのかかわりについて考察し、論理的に説明する力を問う。

【解答のポイント】

- 問1 学校教育に生成 AI が利活用される中での教師の役割について、学校教育、あるいは幼児教育のいずれかの視点から考察し、論理的かつ明確に述べられていること。
- 問2 本文および資料で示されている学校教育における生成 AI の利活用の内容から課題を明確に捉え、自分の意見が論理的に述べられていること。